



校長 竹内 徳望

「失敗しない男」は「諦めない男」

地域の皆さま、そして生徒の皆さん、2学期が始まりました。今夏の**2024年パリオリンピック**では、過去最多の20個の金メダルを獲得するなど、各競技で奮闘された選手たちの残像が数多く浮かんできます。その中でも、私が特に印象深かったのは、8年ぶりの団体金メダルを獲得した**体操男子団体総合**における日本代表の**奇跡的な大逆転勝利**です。この勝利は、私たちに「向上心」や「最後まで諦めないこと」「ひたむきに」「粘り強く努力すること」、そして「諦めない日本」という大切なメッセージを届けてくれました。

この日本代表の勝利を語るうえで、「**失敗しない男**」として知られるキャプテンの**萱和磨選手**の存在は欠かせないと思います。彼はその安定感と卓越した技術で、長年にわたり日本の体操界をリードしてきました。しかし、今回のオリンピックでは彼にも大きな試練が待ち受けていました。日本チームは序盤こそ好調なスタートを切ったものの、競技が進むにつれてミスが重なり、一時、メダル圏外の5位にまで追い込まれるという厳しい状況に陥りました。

そのような**絶望的な状況**の中、萱選手はチームを励まし、「**絶対、諦めんな**」と声をかけ続けました。この言葉には、彼自身の強い信念と責任感が込められていました。結果として、最終種目の鉄棒で彼らが見せた完璧な演技が、日本の逆転勝利を決定づけ、日本代表は見事に金メダルを手に入れました。萱選手は、「**絶対に諦めない**。オリンピックは本当に何があるかわからないので、諦めないという意味で（橋本）大輝（選手）の背中を押した。ポディウム（演技台）の下に残った4人は、大輝が着地をして挨拶をするまで最後の最後まで応援しよう。みんなで肩を組んで見守っていました」と振り返っています。この勝利は、彼らがもち続けた「向上心」と「最後まで諦めない心」が実を結んだ結果だったのでしょ。

萱選手のエピソードから学べることは多くあります。まず、「**向上心**」とは、自分自身を常に高め、より良い結果を目指して努力する姿勢です。萱選手をはじめとする日本代表の選手たちは、日々の練習で少しでも技術を向上させるために**地道で泥臭い努力**を重ね、結果がすぐに出なくても、決して諦めることなく、粘り強く取り組んできたことでしょう。このような姿勢は、生徒の皆さんにも、日々の生活の中で特に大切にしてほしいものです。

次に、「**最後まで諦めないこと**」の重要性です。日本チームは、絶望的な状況に直面しても、最後の瞬間まで全力を尽くしました。その結果、奇跡的な逆転勝利を成し遂げたのです。生徒のみなさんも、勉強や部活動、日常の様々な場面で、困難に直面することがあるでしょう。しかし、そんな時こそ、諦めずに最後まで努力を続けることが大切です。**どんなに厳しい状況でも、諦めずに挑戦し続けることで、必ず道は開けると**、私は信じたいと思っています。

また、「**ひたむきに**」「**粘り強く努力すること**」の大切さも、この勝利だけでなく、全ての日本代表の立ち振る舞いから学べるのではないのでしょうか。彼らは、一朝一夕でこの成功を収めたわけではなく、長年にわたり、強い「思い」をもって、ひたむきに努力を積み重ねることで、「力」をつけてきたことでしょう。その「思い」や努力こそが、結果として、オリンピックという大舞台で実を結んだり、結果が伴わなくとも、熱い涙として流れたりするのではないのでしょうか。私は、**すぐに結果が出ない時こそ、粘り強く努力を続けることが必要なのだろう**と思っています。**努力は必ずしもすぐに報われるわけではありませんが、「続けること」**が必ず自分自身を成長させ、よりよい未来を切り拓くことができると信じます。

この「**諦めない日本**」の精神は、我々大人が地域や社会で生活するうえでも、学校生活においても、非常に重要なものではないのでしょうか。地域の皆さまと学校、そして家庭が一体となり、この精神を次世代に伝えていくことが大切と考えています。子供たちは、私たち大人の背中を見て育ちます。我々大人が「向上心」をもち、実践する姿を見せることで、子供たちにもその姿勢が自然と伝わり、未来の困難を乗り越えていく力を育むことができると信じます。

結びに、我々学校職員も「諦めない日本」の一員として、生徒たちとともに、成長し続けていきたいと存じます。そして今後も、学校、家庭・地域が連携し、子供たちが自分の夢や目標に向かって努力を続け、未来を切り拓いていけるよう全力で取り組んでまいります。今学期も、本校への熱いご支援と、教育活動へのご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

特例授業実施 8月27日(火)～

令和6年度、本校は、文部科学省から、授業時数特例校に指定されました。これは、教科等ごとの授業時数の配分の変更により、特別の教育課程を編成して教育を実施することができる制度です。

2学期当初に、情報活用能力や消費者教育に関する特例授業を実施しました。生徒は、変化の激しい時代を生き抜くために必要な知識について学び、思考を深めることができました。



【タイピングコンテスト】
5分間で、文字入力の手速を競う



【オンデマンド講座】
成年年齢引き下げによって変わること、備えたいこと



ネット・スマホ・SNSの適切な使い方



人生で必要になるお金と、その正しい使い方

第2回避難訓練 8月27日(火)

今年度2回目の避難訓練を実施しました。今回は、体育館や特別教室など、自教室ではない場所で地震が起こったときの対応行動と、火災が発生した時の避難方法について学びました。

今年は、8月8日に南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)が発表され、日頃から、災害に備えておくことの重要性を改めて感じさせられました。

ご家庭でも、避難場所や避難経路を確認しておくなど地震への備えについて話し合ってみてはいかがでしょうか。



【9月の学校行事】



日	曜	行事等
1	日	
2	月	・登校指導 ・第Ⅱ期時間割開始
3	火	・第2回東部地区テスト(3年)
4	水	・パワーアップ確認テストA(2年)
5	木	・全校集会
6	金	
7	土	
8	日	
9	月	
10	火	
11	水	・社会体験学習(2年) ・パワーアップ確認テストA(1年)
12	木	・専門委員会⑤
13	金	
14	土	
15	日	
16	月	・敬老の日
17	火	
18	水	
19	木	・5時間授業
20	金	・ふれあいデー
21	土	
22	日	・秋分の日
23	月	・振替休日
24	火	・新人体育大会
25	水	・新人体育大会 ・3時間授業、給食なし
26	木	・新人体育大会
27	金	
28	土	
29	日	
30	月	・PBL講座(5校時)

校名案募集

令和9年4月、権現堂川小学校・吉田小学校・八代小学校の3小学校と東中学校がひとつになり、幸手市で初めての義務教育学校を、現在の東中学校に開校する予定です。

幸手市は、新たな学校の校名案を皆様から募集しています。

詳細につきましては、裏面をご覧ください。

なお、応募用紙は本校にもございますので、必要な方は職員室までお越しください。

東中学校区義務教育学校の校名案の募集について



令和9年4月、権現堂川小学校・吉田小学校・八代小学校の3小学校と東中学校がひとつになり、幸手市で初めての義務教育学校を、現在の東中学校に開校する予定です。これにあたり、下記のとおり新たな学校の校名案を皆様から募集します。

応募された校名案をもとに東中学校区再編準備委員会等で協議を行い、最終的な校名が決定しましたら市ホームページなどでお知らせします。

義務教育学校とは？

小学校と中学校が一つになった9年間の学校で、一人の校長先生の下で、小・中学校の先生が協力して系統的・継続的な教育を行う新たな学校です。全国的にも設置する自治体が増加しています。



幸手市マスコットキャラクター さっちゃん

1 募集内容	東中学校区に開校を予定している幸手市立義務教育学校の校名案
2 応募期間	令和6年8月26日（月）～9月17日（火）午後5時【必着】
3 応募対象	市内にお住まいの方、又は市内にお勤めの方 ※一人1点まで
4 応募方法	<p>○インターネットにより応募する場合 右のQRコード又は下記URLから、応募フォームに必要事項を入力してご応募ください。（応募用紙の提出不要） URL https://logoform.jp/form/5uhu/koumeioubou</p> <p>○郵便、FAX 又は持参により応募する場合 応募用紙に必要事項を記入し、次のいずれかの方法でご応募ください。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・郵送、持参：応募用紙を下記の宛先に郵送又は直接ご持参ください。 【問合せ・宛先】〒340-0192 幸手市東4-6-8 幸手市教育委員会 教育総務課 学校再編担当 ・FAX：応募用紙を0480-43-3188へ送信後、電話にて受信確認を行ってください。（☎0480-43-1111(代)）内線624 <p>※電話など口頭による応募はできません。</p>
5 校名案作成の条件	〇〇小中学校や〇〇義務教育学校、〇〇学園などとしてください。ただし、市内外の既存の学校名と誤解されるものはご遠慮ください。
6 選定基準	①親しみやすく地域に愛着を感じられる、東中学校区にふさわしい校名。 ②将来にわたり、長く使い続けられる校名。
7 留意事項	<ul style="list-style-type: none"> ・応募いただいた校名案は、幸手市教育委員会に帰属します。 ・必要事項の記入漏れや内容に不備がある場合は、応募が無効になる場合があります。 ・応募にかかる経費は応募者の負担となります。 ・応募用紙の返却は行いません。また、応募者個別の結果通知、選定に関する問い合わせへの対応はできません。 ・応募者の個人情報、この目的以外で使用しません。 ・応募数の多い校名案が校名に決定するものではありません。



QRコード

応募用紙は市の公共施設（公民館・図書館など）にあります。

皆様のご応募をお待ちしております。

